



橋の美學

巻 1-20

昭和十七年三月七日印刷

昭和十七年三月十日發行

著 者

鷹 部 屋 福 平

發 行 者

北 原 鐵 雄
東京市神田區神保町三ノ一三

印 刷 者

山 本 英 治 郎
東京市牛込區東五軒町三三

印 刷 所

山本源太郎印刷所
東京市牛込區東五軒町四〇

印 刷 所

萩原印刷所
東京市牛込區山吹町一九八

發 行 所

ア ル ス
文協會員番號一〇一〇三五
東京市神田區神保町三ノ一三
振替・東京 二 四 八 八 八
電話・九段二一七五・二一七六

配 給 元 東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式会社

アルス文化叢書 刊行の言葉

アルス文化叢書は現代文化を構成する凡百の各要素に就て、あらゆる角度に於て、之を觀察し、分析し、批判し、解剖し、在來の長たらしき活字の羅列に代ふるに、端的に明快なる寫眞を以つて其の眞實を示し、之に加ふるに現代第一流各専門諸家の適切簡潔なる解説が之れと交流し交錯し渾然たる一體を成す、全く新しき構想の下に刊行される數百卷に亘る空前の大列冊である。即ち讀むことの代りに眼で視、考へて理解することの代りに直接に視覺に依つて知識を把握せんとするものである。従つて其の包含する處の内容は頗る廣汎であつて、或は現代文化の骨格を成してゐる我等祖先の傳統を發掘して、繪画に彫刻に建築に日本美の眞髓を再認識する機會も與へられるであらう。或は亦、現代機械工業の轟々たるモーターの唸りに、飛行機の爆音に、戦車の地響に、最新科學の精粹も示されるであらう。天翔けるもの、地に住むもの、海に潛むもの一切の鳥獸昆蟲魚介の生活、一木一草の眞實、天空の神祕、地中の秘密も亦ここに活寫されるであらう。或は農村に、漁村に、工場に、鑛山に營々として増産に必死の努力をつづけてゐる同胞産業戦士の勇ましき姿も、家庭に於ける銃後婦人の眞剣なる働きも、或は東亞共榮圈を形成する大陸の風物、南海の資源も次ぎ次ぎに展開されるであらう。凡そ現代文化を形成し、明日の進展に備ふべきあらゆる事項は悉く本叢書中に捕捉して遺憾なきを期したのである。

今や戦戦に五年、高度國防國家の建設は正に焦眉の急である。これかためには軍備の擴充も、資源の開発も、産業の振興も絶対に必要なるは云ふまでもないが、同時に國民に高度の文化性を與ふことは、實に高度國防國家建設の核心を成すものであつて、あらゆる進歩も、向上も、發展も、これの推進の原動力を成すものである。ここに於て、短時間に端的、卒直、直接に視覺による文化教育を目標とするアルス文化叢書の國家的使命が存するのであつて、現下出版資源の困難なるあらゆる障害を突破しつつも此の難事業に敢然として當面せざるを得ない我が社の抱負も亦ここに存するのである。願はくは我が日本のために、力強き新文化建設のために、當路者の理解ある協力と國民同胞の熱意ある支援の下に、本叢書刊行の目的貫徹を祈願して止まないものである。

北 原 鐵 雄

アルス文化叢書

1 高山の植物 理學博士 武田久吉著

高山植物に限らず高山の麓から頂上迄の草木の個々群落の生態消長を盡す。寫眞百十六枚。普通の山嶽、裾野、高原にも必讀

2 春 蘭 笹山三次著

園藝家ならずとも座右に蘭を愛する憧憬は何人も抱く所。花形たる春蘭の粹を選び寫眞百十七枚により觀賞栽培の全般を詳述

3 歌舞伎舞踊の變遷 渥美清太郎著

歌舞伎研究の權威者が、お國歌舞伎の昔から猿之助の新舞踊運動迄の舞踊を百七十枚の寫眞に依り系統的文化的に詳細叙述

4 高山の鳥 清棲幸保著

登山やハイキングに出て名も知らぬ鳥の聲を耳にし、屢々その姿を見出す時、本書九十枚の精巧寫眞と權威解説は必携の重寶

5 日本書道 荃本白雲著

書は實用に立つ獨得の藝術。本書は日本古今の名筆眞蹟に依りその傳來から日本様の樹立發展の精華を辿つて將來をも指示す

6 潜水艦 海軍少佐 福永恭助著

海の狼と謳まれる潜水艦は今や全世界注視の焦點に立つ。例に依つて凡ゆる角度から視た潜水艦を端的に寫眞を以つて表現す

規格 B 6 ・ アート刷寫眞豊富 ・ 各冊一円二十錢(半税)

アルス文化叢書

7 航空の發達 大日本飛行協會 北尾龜男 著

人類が空を飛ぶ試みの抑々の發端から現代の航空時代に至る機體の發達、航空の歴史、記録を漏れなく寫眞百四拾六枚に表現

8 章假名帖 帝室博物館 鑑査官 三條西公正 著

日本文字かな書が空前絶後とも稱すべき燦然たる展開を見せた平安朝の名筆を鮮麗無比の寫眞四拾八枚に再現した必備の重寶

9 日本の染織 帝室博物館 鑑査官補 守田公夫 著

工藝美術の極致を誇る我が染織の、推古の昔天壽國曼陀羅より正倉院切、降つて室町、桃山、江戸に到る刮目すべき逸品集成

10 蘭印諸島 朝日新聞社 副島種經 著

蘭印の重要性は更めて言を俟たない。その地理、産物、風俗、現状の全設に亘つて最近の報道寫眞百二葉を収録した絶好の指針

11 雲 尾崎喜八 著

近刊

大空をあやなす雲の千姿萬態を把握類別して、これを氣象學的に天氣豫報に又審美的に味へる楽しさは本書に於て始めて實現

12 道祖神 理學博士 武田久吉 著

全國の村落山路にのこる道祖神の懐しさは、旅行者にとつても格別の親しみが湧く。例により實物寫眞本位に懇切なる解説附

規格B6・アート刷寫眞版豊富・各冊一円二十錢(送料)

アルス文化叢書

13 法隆寺の壁畫 文部省 田中一松 著 國寶調査委員

近刊

法隆寺金堂の壁畫を新たな光の下に撮影した鮮麗極る寫眞集。全容から細部に亘る再現は、權威解説と共に必備の参考書である

14 大同の石佛 小川晴陽 著

今や世界に知られた大同の石佛群を、わが佛教美術寫眞の第一人者が數多の日子と慎重なる用意を以て撮影された空前の收獲

15 埴輪 後藤守一 著

日本上代の文化様態を具現した遺物として尊重される埴輪の全般。眼のあたり我が往古の風俗生活に接する想ひがする。

16 タイ王国 讀賣新聞社 松井政平 著

近刊

大東亞共榮圏の完遂にいち早く立上つて今や我國と提携搖ぎなきタイ王国の全貌を寫眞に展開せる最近の一大收獲である。

17 橋の美學 北大教授 鷹部屋福平 著 工學博士

世界各國の橋梁を、その構成に徹した根深い審美的看點から採擇せる傑作寫眞集。例に依つて鮮麗寫眞満載、權威解説附。

國民禮法 德川義親侯 関村田志賀子 著

近刊

昭和日本の新禮法として文部省制定の禮法要項を本書獨特の寫眞に依つて指導し、之に解説及要項を添へた國民必携の寶典

規格B6・アート刷寫眞版豊富・各冊一円二十錢(送料)

昭和五十六年四月二十八日

(社) 土木学会 入譜呈



横須賀